

ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ（特色型） （2015年～2020年）

目的

異分野融合・共同研究の女性研究リーダーへの支援、女性上位職の両立支援など、産学官連携に強みを持つ本学の女性研究リーダー育成のための取組みを推進します。

目標と行動計画

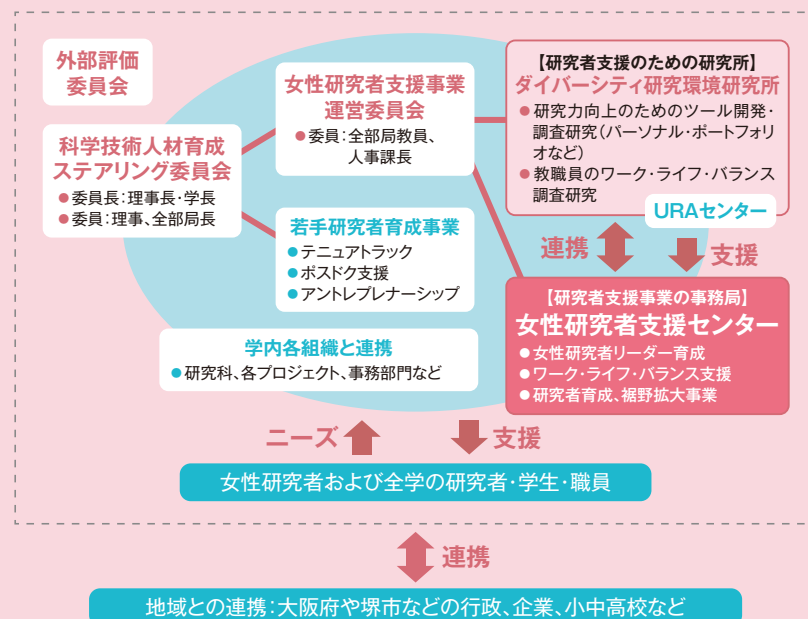
第3期（2017年～2022年度）中期計画と中期目標に目標・行動計画を位置づけます。

- 2016年度以後、新規採用における女性教員比率30%
- 2020年度に、女性教員比率21%
- 女性教授ゼロの部局ゼロ
- 上位職（教授・准教授・講師）における女性比率23%
- 上位職（副学長・理事・学長補佐）における女性比率25%

取組みの概要

- 学内にダイバーシティ研究環境研究所を設立し、女性研究リーダーの育成と上位職に就くための支援を行います。
- 女性比率の数値目標達成のための計画を部局ごとに取組み、高成果の部局にインセンティブを付与して支援します。
- 若手女性研究者の支援として、パーソナル・ポートフォリオ（上位職へのロードマップを含む）の活用と研究力強化プログラムを実施します。

実施体制



多様な人材活用推進の基本方針

大阪府立大学が公立大学としての存在意義を高め、地域に信頼される存在となるためには、地域社会や産業界を牽引する人材が本学から持続的に巣立ち、広く世界に翔く（はばたく）ことでその証を立てなければならない。それらを追求するため、日本のみならず世界の研究型大学の変革の起点となり、地域に信頼される知の拠点となるべき基本理念を表す言葉として、「高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点」を掲げている。

本学が目指す大学像の実現には「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードがある。革新的な知を創出する拠点となるためには、年齢・性別・国籍の違いを超えて、異なる価値観や経験・背景をもつ「多様」な人材が集い、互いに知的触発を受ける環境が不可欠である。そのうえで多様な人材が切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創出し、そして「世界」に発信する。

したがって本学は、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう、本学構成員の意識改革、環境の整備、支援相談システムの構築などを推進する。そして、活力あふれる「知」の創造の場を形成し、本学の理念を実現する。

支援事業のあゆみ

2010年	1月	女性研究者支援ワーキンググループ立ち上げ 「大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針」策定
	5月	文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に採択 （「元気!生き生き女性研究者・公立大学モデル」2010年度～2013年度）
	6月	女性研究者支援センターを設立
2011年	4月	つばさ保育園（中百舌鳥キャンパス）開園 理系女子大学院生チームIRIS（アイリス）発足
2013年	5月	「大阪府立大学男女共同参画宣言」
2014年	4月	本学の自主事業として女性研究者支援事業を継続 研究支援員制度の支援対象を男性研究者にも拡大
2015年	7月	文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択
	10月	ダイバーシティ研究環境研究所を設立（女性研究者支援センターも継続）
2017年	6月	女性研究者支援プログラムの初代プログラムオフィサー・田間泰子教授が 「男女共同参画社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞
	3月	文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」中間評価で「S」評価を取得
2018年	4月	女性研究者支援事業の事務局を女性研究者支援センターに統一 （ダイバーシティ研究環境研究所も継続）
	5月	女性研究者支援センターが「2018年度憲法記念日知事表彰 （男女共同参画関係部門）」を受賞

大阪府立大学 女性研究者支援センター

〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
中百舌鳥キャンパス B16棟
TEL・FAX／072-254-9856（直通）
5057（内線）
E-Mail／w-support@ao.osakafu-u.ac.jp

【交通アクセス】

南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約6分
南海高野線「中百舌鳥駅」、地下鉄御堂筋線「なかもず駅」下車、
南東へ約1,000m、徒歩約13分



大阪府立大学 女性研究者支援センター

Center for Women in Research of
Osaka Prefecture University



大学内はもちろん、地域において女性研究者の活躍をめざします。

大阪府立大学では、性別に関わらず、多様な人材が個人の能力と個性を発揮し、地域に還元することのできる公立大学として発展するため、研究環境整備と研究者育成に関するさまざまな女性研究者支援事業を実施しています。

I

環境整備

推進体制を整えるとともに、研究者への直接支援などを行っています。

研究支援員の配置・在宅勤務支援

妊娠・出産・育児および介護で研究時間の確保が難しい研究者に対して、研究を補助する支援員を配置します。
また、在宅勤務の支援としてwebカメラ付きパソコンの貸与を行っています。

女性研究者増加のための取組み

- 部局単位で一定の女性研究者採択比率を確保する人事計画を策定し、実施します。
- 部局の取組みのうち、目標達成度の高い部局にダイバーシティ研究環境整備費を付与します。

女性の相談窓口

女性研究者や職員、学生の困ったことや悩みの相談に対応しています。

- ▶ 支援センター相談
研究者や研究者になろうとする女性が、研究を続けていく上で困っていること、悩んでいることの相談をコーディネーターが受け付けています。
- ▶ メンター相談
研究を続けていく上での色々な悩みを、先輩の研究者に相談できる仕組みを作っています。
- ▶ 女性研究者ヒアリング
- ▶ ベビーシッター割引券発行

全学的意識改革

女性研究者が研究を続けていくことへの全学的な理解を進めます。

- ▶ ロールモデル・セミナーやロールモデル・カフェの実施
ロールモデルとなる、社会で活躍している女性からお話を伺うことで、多様なキャリアパスを考える機会を提供しています。
- ▶ 事業紹介
- ▶ 取組みの積極的発信(日経ウーマノミクス・フォーラム、大阪府、ロールモデル集)
- ▶ 「会議は17時まで」キャンペーンの実施
- ▶ ロールモデル・バンクの構築
- ▶ 大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者、堺市子育て応援団に登録
- ▶ 「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証取得



▼ロールモデル・カフェ



▲「会議は17時まで」ポスター

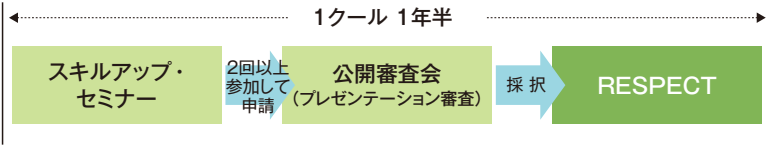


▲「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証取得

II

研究支援

女性が研究者として活躍するキャリアパスの構築を支援します。



スキルアップ支援プログラム

女性研究者を対象としたスキル向上に資するために行うプログラム。

● 外部資金獲得セミナー	外部資金獲得のためのスキルアップ
● 英語論文作成セミナー	研究成果を海外へ発信する力を習得
● プレゼンテーション力向上セミナー	プレゼンテーション力および教育力の向上
● マネジメント・セミナー	研究チームの研究室・部局を運営する マネジメント力のある上位職の養成

研究実践力強化支援プログラム (RESPECT)

女性研究者がリーダーシップを発揮し、研究グループを形成して研究活動を推進するために、インセンティブを付与し、研究の加速を支援することを目的とした、女性研究リーダー育成のために行うスキルアップ支援プログラムの上位研修プログラム。

女性研究者交流会

地域の女性研究者・技術者と、本学の女性教員が研究やワーク・ライフ・バランスについて情報交換し、ダイバーシティの取組みについて理解を深めるとともに、共同研究など連携推進を図ることを目的として交流会を開催しています。

▲女性研究者交流会

大阪府立大学 ロールモデル集：研究紹介

本学において様々な分野で活躍する女性研究者たちの研究分野を紹介した「大阪府立大学 ロールモデル集：研究紹介」を作成しました。



III

研究者育成

女性が研究者として活躍するキャリアパスの構築を支援するとともに、これから進路を選択する世代に対して、理系への興味を高め、理系分野や研究者の道へ進むことを促す取組みを実施しています。

理系女子大学院生チーム「IRIS (アイリス)」

小中高校生対象に裾野拡大事業を実施。IRISメンバーはイベントの企画から準備、実施、ふりかえりへと事業のPDCAサイクルを回して、ステップアップしていきます。



▲IRIS任命式



▲IRISロゴマーク

- IRISサイエンス・キャンパス
理系で活躍している女子大学院生の存在を知ってもらい、科学の楽しさ・面白さを伝える出張型サイエンスイベント
- 理系進路相談
「めざせ！理系女子 コーナー 先輩と話そう」
理系への進路を考えている女子高校生・受験生とその保護者を対象に開催。女子高校生・受験生はIRISとの少人数でのグルーptークで、保護者には教員から、大学生活の様子や研究などについてお話し、質問に答えます。
- IRIS OGとの連携・交流
- 他事業との連携
- 企業研修



▲IRISサイエンス・キャンパス



▲めざせ！理系女子コーナー 先輩と話そう

学内保育施設「つばさ保育園」

大阪府立大学では、2011年4月に、教職員などの仕事・研究と育児の両立を支援し、男女共同参画を推進するため、「つばさ保育園」を開園しました。四季折々の自然を感じ、ゆったりとした少人数の良さを活かしながら、兄弟・姉妹のように育ちあうことを大切にしています。旬の味を大切に、少人数だからできる園内でのクッキングや、大阪府立大学の学生との交流なども積極的に行っています。



▲つばさ保育園